



第52回 北上・みちのく芸能まつり

第52回北上・みちのく芸能まつりは8月2日～4日の間、市内各地で繰り広げられました。

初日は和太鼓公演、市民参加の「みこしパレード」「市民パレード」。元気いっばいに声を張り上げて、みこしをかつぐ子どもたちや市民パレード参加者で会場は活気にあふれました。また、初めて育成団体による鬼剣舞大群舞が行われ、若々しい踊りで初日を飾りました。

2日目は民俗芸能を代表する「鬼剣舞」「鹿踊」をはじめ、「神楽」「田植踊」などのほか、沿岸地域から「虎舞」などの団体を招待し、各会場で公演を行いました。2日目の最後を飾る鬼剣舞大群舞。かがり火のもと躍動感あふれる踊りを披露し、観衆を魅了しました。

最終日は、各会場で芸能公演が行われた後、北上川に1万灯のトロッコ(灯ろう)が流されるなか、上空には1万発の趣向を凝らした花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩り、まつりを締めくくりました。

今年は、日程を昨年までの8月第1土・日・月曜日の開催から金・土・日曜日に変更。市民参加型のまつりの充実を図るとともに、芸能団体の後継者育成と芸能公演を充実させ、民俗芸能のまち・北上を全国にアピールし、多くの観光客などにごわいました。



②



①



③



- ① 1万発の花火と1万灯のトロッコが流れた「トロッコ流しと花火の夕べ」
- ② 快晴の下、太鼓の音が鳴り響いた詩歌の森鹿踊公演での行山流口内鹿踊
- ③ さくらホール芸能公演。田遊び芸能としては県内唯一で、全国的にも希少な存在である春田打
- ④ かがり火の中で21団体による鬼剣舞大群舞での北藤根鬼剣舞
- ⑤ 今年初めて行われた市内の8育成団体による鬼剣舞大群舞での岩崎鬼剣舞スポーツ少年団
- ⑥ さくら野前芸能公演での村崎野大乘神楽(青少年)

